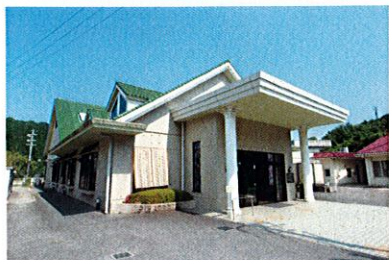


はくちょう便り

～No.35～



いつもお世話になりありがとうございます。このお便りを読んでいただきありがとうございます。今回は、4月からのはくちょうの取り組みについてご紹介したいと思います。一日でも長く家で暮らしていただくために何をすべきなのか？何ができるのか？という視点で取り組みを考えてきました。一番大切なのは、問題解決型ではなく目的志向型への職員一人ひとりの意識の変化です。同じ介護をするのでも、自立支援の視点があれば介助方法も変わってきます。また、家族支援もご本人への支援と同じくらい重要だと考えます。あまりのめりこみ過ぎず、たまにはホッとする時間も必要だと思います。そんなこんなで、ご紹介していきたいと思っております！！

4月から認知症加算を算定いたします。

認知症予防には、食習慣・運動習慣・知的行動習慣など、認知症になりにくい生活習慣を保つことや、認知症で落ちる認知機能を意識的に鍛えるなど、デイサービスでできることはたくさんあります。

はくちょうでは、希望者の方への定期的な

MMSEテスト、脳若返りプログラムの実施、脳トレプリントと様々な認知症予防の取り組みを行っています。大切にしていることは、笑いと言の回復です。また、認知症の方への対応は、心地よい安心できる環境設定が重要です。広いスペースの中で安心する

自分の居場所が確保されていたり、みんなが笑顔で接してくれる。そんな当たり前のことがもっとも大切だと思います。さまざまなプログラムを行うことよりも、どのように行っていくかが大切だと考えます。



“なるリハ” 始まります！！

毎日の日課として行っていますレクリエーションの時間14:00～15:00をもっと有意義な時間になればと考え、“なるリハ”を導入していきます。

こんなふうになるという目的を明確にした内容のリハビリ体操を7～10名程度の少人数に分かれてもらい、面白おかしく1クール15分程度で3クールの実施を予定しています。

(イメージとしては、一人のインストラクターが7～10名の利用者とコミュニケーションをとりながらみんなが参加して効果的な体操を行っていく) 今回の導入にあたって、はくほう会医療専門学校の小林 憲人先生にご指導・監修をいただきました。まずは、トイレの心配がなくなる魔法のリハビリや、安心してお風呂に入れる魔法のリハビリなど、普段の日常生活動作が安心して自立して行えることに着目したリハビリを行っていきます。大切なのは、こんなふうになるという具体的な目標イメージをご本人に持っていただくことと、“継続は力なり”です！ と、書きながら耳が痛いですが(笑)



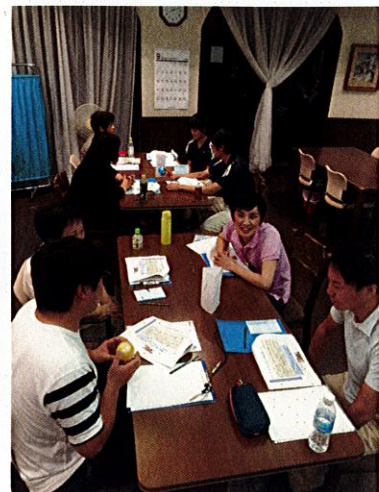
家族会“だべりば”毎月開催いたします。

ご家族さまにも“ホッと”していただける時間が作れたら…と思い、毎月開催していきます。映画鑑賞をしたり、勉強会をしたり、おしゃべりをしたりと、ご家族さま同士がつながりあえるきっかけになればいいなと思います。

マネジメント研修開催いたしました。

3回シリーズで、マネジメント研修を行いました。チームで仕事を進めていくうえでコミュニケーション能力は重要です。コーチングとティーチングを使い分け、コミュニケーションギャップを生まない伝え方などワークを通して楽しく学ぶことが出来ました。

この場の気持ちの盛り上がりで終わらないようにと、先生に厳しいお言葉を頂きました（笑）。（株）イオスコンサルティング 角子先生ありがとうございました。



まだまだご紹介しきれません！



ご家族さまも含め楽しく元気に“家で暮らそう”を合言葉に、いろいろな可能性を探っているところです。ご本人への対応だけではなく、ご家族さまの負担の軽減も大切だと考え、例えば来所時に体調を崩された場合の受診の対応や、送迎時の細かなニーズへの対応、医療的処置が必要な方への対応など、出来ることは出来る限り行っていきます。デイサービスでの時間の対応だけではなく、ご家族さまをはじめ、ケアマネージャーさま・その他サービス事業所さまなど、それぞれの役割を互いに共有し合った上でのいい関係性と連携が最も重要だと考えます。

今後ともご指導・ご鞭撻を頂きながら職員一同努めて参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

お問い合わせは デイサービスセンターはくちょう 電話 079-266-5858 武野・平野まで

現在、各曜日ともに空きがございます。お気軽にお問い合わせ下さい！！